

公 表 日

令和 2年 9月 25日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和2年度 白川緑川水系河川IT関連施設整備全体計画改定業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 鈴木 学 熊本市東区西原1丁目12番1号
契約年月日	令和 2年 9月 25日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	34,397,000円(税込み)
予定価格	34,397,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	白川緑川水系
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 2年 9月 26日
履行期間(至)	令和 3年 2月 26日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和2年度 白川緑川水系 IT 関連施設整備全体計画改定業務
2. 履行場所 白川緑川水系
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12
会社名：株式会社 建設技術研究所 九州支社
電 話：（092）711-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、河川における洪水被害の防止及び軽減、日常の河川管理の充実を図るために作成した既存資料「白川水系・緑川水系の河川 IT 関連施設整備全体計画及び当面10年間の整備計画【白川・緑川】」について、近年の社会情勢、河川整備の状況、技術水準の変化や新たな知見、技術の進捗等の変化を踏まえ、整備計画の見直し等を行うことを目的とした業務である。

2) 業務の内容

- ・現況調査
- ・河川 IT 関連施設整備全体計画の作成
- ・洪水予測システムサーバー無停電電源装置の更新
- ・マイ・タイムライン検討ツール作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低27社あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を19社が入手（ダウンロード）し、4社から参加表明書が提出され、4社が参加資格を有していた。

参加資格を有する4社を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断され、かつ、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針、評価テーマ「白川、緑川の特徴を踏まえた河川 IT 関連施設整備全体計画の改定を検討する上での留意点について」に対する技術提案において、最も優れた提案を行ったものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

熊本河川国道事務所 調査第一課長